

2 / 3・4

# 今年の勝者は 赤組か白組か

## 第46回登別温泉湯まつり

2月3日(金)・4日(土)の2日間、登別温泉とカ  
ルス温泉で『第46回登別温泉湯まつり』(登  
別観光協会・市主催)を開催しました。

同まつりは、登別温泉の多彩で豊富な湯量が  
尽きることのないよう祈願し、天与の効能に感  
謝をするとともに、赤鬼・青鬼の『湯鬼神』が、  
登別温泉街のホテルや旅館、商店などに登場し、  
観光客や市民の厄払いなどを行うまつりです。

各所では、『湯鬼神かぐら』が披露され、訪  
れた市民や観光客の厄払いが行われたほか、  
『子宝もちつき舞』や甘酒・おしるこの振る舞  
いなどが行われました。

4日の夜には、下帯姿の男性約100人の若者に  
よる『源泉湯かけ合戦』が源泉公園で行われ、  
厳寒の中、湯をかけ合いながら勇壮な騎馬戦を  
繰り広げました。

今年は白組が勝利したため、登別温泉の湯量  
が増えると期待されています。



▲ホテルのレストランを練り歩く『湯鬼神』



▲白組が勝利を飾った『源泉湯かけ合戦』

# 鬼の豆まき隊、 いざ出陣

## 2017鬼まつり

1月28日(土)、登別・幌別・鷺別地区で『20  
17鬼まつり』(鬼まつり実行委員会主催)が  
行われました。

鬼に変装した『元鬼(げんき)ふりまき隊(豆まき隊)』  
が、各地区の商店街や保育所、病院などを訪れ、  
太鼓や笛を鳴らしながら無病息災・家内安全・  
商売繁盛を祈願。保育所では、鬼の登場に驚い  
た子どもたちが泣き出したり、鬼に向かって豆  
を投げたりする姿が見られました。

また、各地区の会場では、餅つきや餅まき、  
アイスキャンデルの点灯式などが行われ、参加  
者はさまざまなイベントを楽しみました。



▲鬼の登場に驚き、保育士にしがみつく子どもたち

1 / 28



▲自然学習や市民の憩いの場として活用を進めているキウシト湿原の保全活動などについて聞き入る参加者

# キウシト湿原を守り、 未来へつなぐ

## 環境講演会

1月26日(木)、クリンクルセンター内の市民  
ギャラリーで、キウシト湿原の保全活動を行っ  
ているNPO法人キウシト湿原・登別の理事長・  
堀本宏(ほりもとひろ)さんを講師に招き『環境講演会』(市主  
催・市環境保全市民会議共催)を開催しました。  
堀本さんは、貴重な湿原を子どもたちに残し  
たいとの思いから活動を始めたことや、湿原の  
特徴・特異性、湿原に生息する生き物などにつ  
いてスライドを交えながら説明。約100人の参加  
者は熱心に聞き入り、湿原の保全と再生活動に  
ついて理解を深めました。

1 / 26